

質の保証された生涯研修で医療貢献への努力を

内山 充

医療計画や医療連携体制の中での医療提供施設としての薬局の位置づけ、あるいは薬局機能情報公表制度や一般用医薬品販売制度など、最近の医療法、薬事法、薬剤師法の一連の改正は、薬剤師が専門職として良質な医療体制の確保に貢献できる舞台が整ってきたことを示すものです。

その舞台で期待に応える活動を行い、医療を通じて国民の健康と生活の向上に貢献できることは、薬局や病院で医療実務に従事する薬剤師にとって大きな魅力でもあり、社会からの信頼を高める良い機会でもあります。

ただしそのためには、各自が継続的な生涯研修によって、時代の変化に即応した学習努力を怠らず、知識と経験を積み重ねることが必要であることは言うまでもありません。

生涯研修は、決められた課程に沿った選択の余地の少ない大学教育とは違います。自らの業務上の必要度や興味、あるいは能力の程度に応じて、自分で選んで受ける学習です。選んだ研修によって得られる成果が違ってきます。長く続けている間にその差も大きくなります。信頼できる質の高い研修プログラムを選ぶことが、生涯研修を実質的で有効なものにする必須条件であり、薬剤師活動の成否を左右する鍵ともなります。

生涯研修の質の良し悪しは全面的に実施団体の責任です。多くの研修はそれぞれ内容に自信をもっているに違いありません。しかし、それが独りよがりや自惚れに陥らないためには第三者評価による保証が必要であることは現代の常識ともなっています。

「薬剤師認定制度認証機構」は、医療実務、教育界及び学会からの委員による第三者評価によって、基準に適合する優れた薬剤師生涯研修の質を保証し認証する事業を行なっています。

この認証が、薬剤師生涯研修の質の向上と薬剤師実務の発展に寄与することを願っています。